

町の成長を、暮らしの豊かさへ

—福祉・健康・子育て・教育を支える取り組み—

☎ 財政課 財政係 ☎096(232)2130

本町では、TSMCの進出を大きな契機として、「成長しつづける町。」をキャッチフレーズに、町民の皆さんが「住んでよかった」と実感できる先進的な日本一のまちづくりを進めています。

この半導体関連企業の集積による効果を、教育や子育て、健康増進や福祉など、町民の皆さんの暮らしにつながる取り組みへと広げ、1人1人がその恩恵を実感できるまちを目指しています。

今回は、これまで町が進めてきた皆さんの暮らしを支える主な取り組みをご紹介します。

福祉・健康

- 介護職員等定着支援 500万円
介護人材の確保のための支援金の交付
- 介護保険住宅改修支援 720万円
介護保険事業の助成に加えて町独自に上乗せ
介護保険事業で対象外となっている改修工事に対する助成
- 健康長寿プロジェクト 817万円
TSMC 慈善財団、熊本大学と連携した認知症予防と健康寿命の延伸事業
- 熊本保健科学大学とのアーバンスポーツに関する協定
アーバンスポーツパークを活用した健康寿命延伸プログラムの開発
- 多世代交流・地域活動の推進 650万円
高齢者を中心とした多世代の交流促進
- 高齢者温泉施設無料入浴 142万円
人との交流促進や心身の健康維持
- 家族介護用品助成 795万円
要介護認定を持つ在宅高齢者を介護する家族への介護用品費の助成
- 高齢者の買物移動支援 488万円
移動手段のない高齢者を対象とした移送や買い物の補助

高齢者への支援



働き盛り世代への支援など

- 働き盛り世代のがん予防推進 1,865万円
40歳～70歳の5歳ごとの節目年齢を対象としたがん検診の無料化
- 妊婦のRSウイルスワクチン接種 904万円
RSウイルスワクチンが妊婦を対象とした定期接種に位置付けられたため、公費での接種を実施



暮らし

- 新たな地域公共交通サービスの導入 3,242万円
AIオンデマンド交通に係る実証運行の実施
- 公共施設の維持管理 20億1,760万円
学校、保育所、町営住宅などの老朽化した施設の改修
- 災害発生時における各種支援協定
食糧・飲料および各種物資、入浴、運送などの支援
- 自治体DXの推進 2,456万円
「行かない役場」の実現に向けたオンライン申請の拡大



子育て世代・教育

- 学校給食費無償化 3億675万円
- 保育所等副食費無償化 7,015万円
子育て世帯支援のため、給食費、副食費を無償化
- 放課後児童クラブ施設整備 9,118万円
児童が安心して過ごせる環境を整備
- 病児・病後児保育 1,954万円
利用ニーズの高い急性期の子どもを預かる病児保育を実施
- 5歳児健診 511万円
1歳6カ月健診、3歳児健診に加えて実施し、健やかな成長発達支援の更なる充実
- 母子手帳アプリ 66万円
乳幼児健診の記録や予防接種スケジュール、子育て情報の配信機能搭載
- こども館の設置 1,245万円
親子や子どもたちが安心して集える場所の設置

子育て世代への支援



教育支援

- 熊本大学との「知の集積」の推進に関する協定
半導体関連分野に対応した教育、研究および人材育成
- 立命館アジア太平洋大学への中学生派遣 252万円
中学生の多文化共生、国際交流を学ぶ機会の創出
- 多文化共生事業(多文化共生センター設置) 1,472万円
国際交流活動を能動的に行うための拠点の整備



地域活性化など

- 新規就農、経営体支援農業者向け事業 3,200万円
新規就農、農業経営の継続・規模拡大の支援強化
- 多面的機能支払交付金事業(町単独) 840万円
農業用施設維持のための地域活動に対する支援を強化
- 商工会補助金の拡充 1,400万円
町内商工業者に対する経営支援の強化
- 生活応援事業 5億6,550万円
きくようみんなの応援券(12,000円/人)の配付
- 各種スポーツ団体との連携
連携協定に基づく、プロスポーツチームとの交流イベントなどの開催



金額は令和8年度の予算額です(令和7年度の補正予算を含みます)。